

# 「自分ごと」で取り組もう！

## 取手市は、脱炭素社会を目指します

☎ 環境対策課 環境政策室 ☎ 内線 1411

市は昨年8月3日に県内市町村で初めて「取手市気候非常事態宣言」を表明しました。気候変動が深刻な問題であると捉え、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めています。しかし、脱炭素社会の実現のためには皆さんが自分ごととして考える必要があります。未来を守るために一緒に取り組みましょう。



▶特集を動画で公開

二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量の具体的なイメージや、一人一人が取り組める行動を紹介しています。



## 1 脱炭素社会の実現に向けた目標

市は「取手市気候非常事態宣言」\*の中で、2050年のCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロにすることを目標として掲げています。今後、国や県と足並みをそろえながら、さらに具体的な目標を定めていきます。

※さまざまな自然災害をもたらすとされる地球温暖化対策に取り組む決意として表明した宣言。4R (Refuse: 不要なものを買わない・受け取らない、Reduce: ごみを減らす、Reuse: 繰り返し使う、Recycle: 再生して利用する) と再生可能なエネルギーの推進、他市町村との連携などを目標としています。



### ■国が定める目標

国も同様に、2050年までにCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロにするという目標を立てています。また、2030年までに2013年度比46%の削減を目指すという、中間目標も表明しています。

Topics

### 取手市のCO<sub>2</sub>排出量ってどれくらい？

2013年度を基準とし、2030年度までに46%、2050年度までに100%削減という国の目標に従うと、市全体の年間排出量は、以下のようになります。



※2013年度の数値は、環境省「自治体排出量カルテ」に基づきます。また、2030年度、2050年度の数値は2013年度の数値を基に計算しています。

## 2 取手市は率先して取り組みます！

市は、「第二次取手市地球温暖化防止実行計画」(事務事業編)を3月に策定しました。いち事業者としての「取手市」が、環境に配慮した事業者として、モデル的な役割を果たしていくことを目指しています。

### ■取手市の取り組み

国の「地球温暖化対策計画」に基づき、市役所事務や学校などの公共施設では、温室効果ガス\*の排出量を以下のように削減することを目標としています。

※CO<sub>2</sub>、メタン、一酸化二窒素を算定対象としています。



項目	基準年度 (2013年度)	中間目標年度 (2025年度)	目標年度 (2030年度)
温室効果ガスの総排出量	4,184.1t-CO <sub>2</sub>	3,682.0t-CO <sub>2</sub>	2,510.5t-CO <sub>2</sub>

◎計画期間中でも、必要に応じて目標や取り組みを見直していきます。

### ▶新しい公用車に電気自動車を選びました

今年度公用車に電気自動車を1台導入しました。業務で使用する際の、CO<sub>2</sub>排出量の削減が見込めます。



### ▶市職員がマイ箸・マイボトルを持参

ごみの排出を減らすため、マイ箸・マイボトルを持参するよう呼び掛けています。これは、年間で1,500kg以上のごみの削減につながります。



### ▶照明・空調機器の省エネ化を図りました

小・中学校の改修に合わせ、教室・体育館などの照明をLED\*に順次切り替えています。空調の新設・更新時にも省エネ機器を導入しています。

\*電球形の場合、一般電球に比べ約85%の省エネ

